

2010年度当委員会では地域コミュニティや地域間連携の中心となる事を目的に環境問題を掲げ、4月例会から7月例会までの約3ヶ月間「うらやすECOプログラム」を開催しました。

「うらやすECOプログラム」は4段階に区分し第一弾「環境講演会」第二弾「キャンドル作成会」第三弾「ライトダウンキャンペーン」第四弾「キャンドルロード」と順序立てて行いました。

4月例会の第一弾「環境講演会：地球温暖化ってなに？」に於いては気象予報士の田家康氏を招き、地球温暖化のメカニズムや世界各地の観測状況を提示した現状の説明、そして現在考えられている対応策をご講演頂きました。その後行われたパネルディスカッション「地域と家庭のECO活動」ではECO活動を行っている企業や団体から4名のパネラーを招き様々なご意見を頂きました。

第四弾「キャンドルロード」に向けて、浦安市民の参加意識を高めるため、第二弾「キャンドル作成会」を25回行い延べ352名のご参加を頂きました。また、web上で行いました第三弾「ライトダウンキャンペーン」も閲覧者に対して環境意識を高める良い機会になったと思います。

7月例会は「我がまち浦安」がひとつに繋がる新しい地域コミュニティの創造を目指す例会と位置づけ、七夕の日に「うらやすECOプログラム」の集大成として第四弾「キャンドルロード」を行いました。元町・中町・新町を縦断している境川全長約3kmにてキャンドル作成会で作成したキャンドルとLEDで天の川を創出しました。その中心部である若潮公園に於いては彦星と織姫が会える場所と位置づけ「出会いの場」としキャンドルで15m四方のハートマークを作り天の川に沿って人々が集えるように工夫しました。各地域の市民間コミュニケーションや地域間コミュニケーションに於いても「出会いの場」を設けたことにより活発に行われたと認識しています。

「他人に対する無関心」を打開するために、地域コミュニティや地域間コミュニケーションを新しく創造するきっかけづくりとして行った「うらやすECOプログラム」は終了後の浦安市民の反応から一定の成果を上げたのではないかと考えています。この事業をきっかけとして浦安市民がコミュニケーションの重要性を再確認し、地域間に於いては新しいコミュニティが創造されることを期待致します。